

慶進高等学校の「今」をつたえる

The Keishin Times



12

恐れるものはない
さあいこうぜ



VOL.12 TOPICS

- 02 祝卒業
- 03 祝卒業・Life is KEISHIN
- 04 活躍する卒業生
- 05 新旧生徒会長対談
- 06 慶進の小窓
From the Locker Room
Keishin Radio Station

慶進高等学校

〒755-0035
山口県宇部市西琴芝2丁目12-18
☎ 0836-34-1111 ① 0836-21-7228
ks@keishin-ug.com

平成25年11月17日(日)維新百年記念公園陸上競技場。慶進サッカー部は全国大会出場をかけた、5年ぶり2度目の県選手権決勝戦を

戦いました。相手は5年前と同じ西京高校。0-2から後半に追いつくものの2-3で惜敗し、準優勝となりました。

平成25年度は武重剛監督、叶屋大樹先生に加え、5年前の準優勝メンバーである藤田亮先生、篠田勇二

トさせました。5年前に叶わなかった思い、今年こそ全国へという思いは後一步のところでまたも途絶えてしまいました。しかし、ピッチで躍動する

慶進イレブンの姿からは、慶進サッカー部のスローガン「感謝・謙虚・感動」の3Kが、監督から選手へ、先輩から後輩へと受け継がれていることを感じさせてくれました。ピッチを懸命に走る選手たちの姿が5年

「ブルーの男たち 気持ちをもひとつに 恐れるものはない さあいこうぜ」 (慶進サッカー部応援歌)

GO FOR IT!

OBのコーチ陣を見ていると5年という月日の流れの速さと、彼らの積んだ経験と頑張り、人間を更に大きく成長させるのだと改めて気づかされました。

武重監督は日頃から「ハート」を重んじます。慶進のサッカー部は確かな「ハート」を受け継ぎ、今後更に成長した姿を我々に見せてくれることでしょう。

卒業生のみなさんは慶進で過ごした3年間で様々なことを学び、経験されてきたことと思います。3年間で大きく成長された卒業生。みなさんの歩んだ3年間は在校生の後輩たちに確かに受け継がれていきます。

中高一貫コース



左から藤井校長(コース長)、岡藤朋宏先生(中高三)、古川義郎先生(中高一)、黒瀬清隆先生(コース主任)

卒業おめでとうございます

慶進高等学校 校長 花田 崇



中高一貫コースの皆さんは5期生として6年間、グローバル・アドバンスコースの皆さんは10期生として3年間、それぞれのコースの特性を出し、様々な場面で元気に逞しく笑顔を持って取り組み、各分野ですばらしい実績を挙げられ、本校の歴史にまた新たな一頁を刻み込んでくれました。ここに心からの敬意を表します。これからの長い人生、常に「笑顔」をもって進んでください。「笑顔」は未来に対する不安を打ち消し、わくわくするような期待へと変化させる心の「栄養素」です。「いつでも笑顔で」という言葉を贈り、皆さんの前途に燦々たる陽光のふりそそがんことを切にお祈りいたします。

コース長 藤井 桜先生

ご卒業おめでとうございます。5期生の皆さんは、慶進での6年間でいろいろなことに積極的に取り組んでくれました。後輩たちは、皆さんのあこがれ、追いつこうとがんばっています。こうして、慶進中高一貫コースの伝統がつながるんです。後輩たちには確かな道すじを残してくれたことに感謝しています。さて、皆さんは次のステージへと歩を進めました。ぼんやりしてちゃだめですよ。社会は、若い力と情熱を持ったあなた達を必要としています。自分のために、みんなのために、自分が一番輝ける場所を見つけ社会に貢献できるようにしっかりと力をつけてください。「生き生きと」過ごしていきましょ。それが一番!!

コース主任 黒瀬 清隆先生

ご卒業おめでとうございます。みなさんの人生で本当に大切な6年間を一緒に過ごしてきたことが多学年でした。今となつては、この年月はあっという間だったなと思いますが、皆さんを見てみると6年間人間はこれほど成長するものなのかと改めて思います。慶進中高一貫コースは次世代のリーダーとなる人材を育てるために、生涯にわたって役立つ学力を養成し、様々な体験活動や交流活動の中で豊かな人間性、ともに生きる力を育んできました。今後も乗り越えなければならぬ壁があるかと思いが、いつも前向きに「一歩一歩前進してください。これからの活躍を期待しています。」

1組 古川 義郎先生
卒業おめでとうございます。幼かった13歳の皆さんが心身ともに成長し、今日の日を無事に迎えられたことは本当に素晴らしい、私も心からうれしく思っています。これまでより少しだけ自由で、そのぶん責任を伴う生活を送ることになると思いますが、至誠をもって万事に当たり、自分と家族と友人を大切にしてください。最後に、本を読みなさい。人に会いなさい。あらゆる他者に敬愛感謝を忘れずに。

2組 岡藤 朋宏先生
ご卒業おめでとうございます。みなさんの人生で本当に大切な6年間を一緒に過ごしてきたことを今改めて幸せに感じます。この卒業は新しいステージへと旅立つ大切なスタートラインです。これから先、困った、泣きそう、嫌になった、そんな感情になることもあるでしょう。そんなとき慶進で得た友達、経験はかけがえのない心の支えとなるはず。我々もこの慶進から旅立つみんなを応援します。これまでも、そしてこれからも。私の経験上、人生ここからが本当に面白い。周りの人への感謝の気持ちを忘れず、チャレンジ精神を持ち続け、自分の未来は自分で作っていくください。気持ちはいつでも「やればできる!かならずできる!!ぜったいできる!!!」

アドバンスコース



左から岡崎史恵先生(コース長)、前田一郎先生(AIII)、大野和治美先生(AIII)、小林隆浩先生(コース主任)

コース長 岡崎 史恵先生
皆さんの人生にとって大切な「旅立ちの時」を迎えました。おめでとうございませう。この3年間いろいろなことがありましたね。個性豊かな皆さんの、学校での様々なシーンが、本当にいい私の脳裏に浮かんできます。笑顔も泣き顔も、真剣な表情も、歯をくいしばって懸命に頑張っている姿も...どの表情も私は大好きでした。それらの一つ一つの体験が皆さんを強く逞しく、そして優しく豊かな人間に成長させてくれたんですよ。

コース主任 小林 隆浩先生

卒業おめでとうございます。高校3年間、長くも、短くも感じたことと思います。学習に、部活動に、生徒会活動に精一杯、励んだ日々が思い出されることでしょう。慶進で得た貴重な経験を大切にして欲しいと思います。

これからは、自らの意志で希望した道を歩いていく時です。選んでもらった道を本当に発揮できる時だと思えます。将来、自分がどうなりたいのか、どんな仕事のか、どんな仕事と心に持ち、学ぶこと、人との関係を大切に、広い世界で活躍してください。期待しています。

2組 大野和治美先生

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。一人ひとりとつとて忘れることのできない思い出のつまった、充実した高校3年間だったのではないのでしょうか。人生の中で、こんなに何かに打ち込んで努力できる機会はないかもしれません。皆さんにとつてそんな貴重な3年間だったら嬉しいですね。高校生活で努力してきたことの積み重ねは、必ずこれから先の人生で皆さんの大きな自信・支えとなるはず。眩しく輝かしい将来がきっと待っています。これからの皆さんの活躍を心から祈っています。

1組 前田 一郎先生

ニュースキヤスターの辛坊治郎さんが、太平洋横断中にヨットが浸水し救助さ

れた時に「この国の国民でよかつた」と言っていました。救助活動を行った人々や救助設備・技術を想つての発言だと思えます。

慶進は卒業していくみなさんが「この学校の卒業生でよかつた」と誇れる学校であり続けます。だから君たちも頑張つてほしい。後輩や先生方が誇りに思える人間になつてください。

これからは「この学校の卒業生で・生徒で・教師でよかつた」とそんな気持ちで繋がっていたいと思います。

グローバルコース



◀左から武富有朋先生(GⅢ3)
高山規子先生(GⅢ1)
藤生博之先生(GⅢ5)
村谷勉先生(GⅢ4)
土生育広先生(GⅢ4)
武重剛先生(GⅢ2)

コース長 藤生 博之先生
卒業おめでとうござい
ます。皆さんはグローバルコー
スの10期生です。ひとつの節
目の年に入学して来る皆さん
を私自身、わくわくした
思いで入学式の日を迎えて
いたことを思い出します。そ
して、その日から「最強」のグ
ローバルコースをめざし、3
年間ともに歩んできました。
何事にも全員が全力で取り
組む姿勢など、まさに「最強」
の集団であったと思います。
これからは、一人ひとりがそ
れぞれの道に進んで行きま
すが、慶進でグローバルコー

コース主任

村谷 勉先生

ご卒業おめでとうござ
います。人生は、絶えざる自
己表現の旅であると言わ
れます。夢や志の実現を目
指して、絶えず努力し続け
る。そこに「輝き」があると
思います。正しい道をしつ
かりと進んでいければ、必ず
志を同じくする人がまわり
に集まってくれます。志の
ある人を、世の中

2組

武重 剛先生

は放つてはおか
ない。見ている人
は見えています。み
なさんは、これか
ら多くの難問が
目前に迫ってく
ると思いますが、
チャレンジ精神
を発揮し、輝きを
放ちながら、解決
して欲しいと思
いと願っています。

1組

高山 規子先生

人生二度なし
いよいよ単立
の時ですね。
ご卒業おめでと
う！
しかしその前
にあなた方は、真
に自分の道を開
くものは、己自身

でなくてはならぬことを、
初めて進路決定をする過程
で体験したと思います。そ
うです、この先人生の行路
を歩むのは、あくまで自己
一人の力によるほかないの
です。その行手を照らす光
は、「学ぶ」ことで力を持つ
ことです。そしてそのため
には、「限りなく求めてやま
ない心」と「限りなく求めて
やまない謙虚な心」とを兼
ね備えなければならぬと思
います。どうか「人生二度
なし」という真理を痛感し、
少しでも納得できる人生を
進んで行ってください。

3組

武富 有朋先生

私は3年間グローバル
コースの担任として君たち
の成長を見てきました。日
に日に成長する君たちを間
近で見、嬉しくもあり羨
ましくもありました。
その慶進で学んだことを
糧に次のステージでも活躍
できる人財になって欲しい
と思います。困ったときは
「最後はハート」この言葉を
思い出してください。

4組

土生 育広先生

みなさんは本日、晴れて
高等学校の課程を修了しま
した。マラソンでたとえる
ならば、ゴール地点のゴー
ルテープを切ったようなも
のです。しかし、ここはゴー
ル地点であり、そして新た
なスタート地点なのです。
学び舎を巣立つみなさん
は、これから先、今まで以上
にいろいろなことを体験す
るでしょう。嬉しい日や楽
しい日だけでなく、辛い日
や悲しい日、思わぬことで
心を痛める日もあるでしょ
う。それでも、笑いながら歩
いていきましょう。歩き続
ければ、道は必ず開けてき
ます。「迷わず行けよ、行け
ばわかるさ！」

終わりにには素晴らしい挨拶
を続け、一生懸命に素直に
勉強や部活に打ち込む姿で
いつも慶進高校を支えてく
れていましたね。

私が大学時代に聞いた

「振り子理論」は、思いつき
り馬鹿になれる者は、重大
な決断や行動ができるとい
う理論です。人生の振り
幅を最大限大きくできるよ
う、安心してここを巣立ち、
新たな出会いを通じて目標
を追い続けてください。一
途に生きてください。そし
て疲れたらいつでも遊びに
帰ってきてください。君た
ちの素晴らしい門出をお祝
いします。

LIFE is KEISHIN 私の3年間

私の高校生活は、バスケットボール部での活動が中心でしたが、とても充実した3年間になりました。部活では、プレー面はもちろん、精神面も鍛えることができたと感じています。全国大会や遠征で全国の強豪校や大学生、実業団と戦えたことでたくさんのことを学ぶことができました。また、個人的な課題もしっかりと見えてきたので、高校で成し遂げることができなかった全国制覇を大学で是非とも叶えたいと思っています。そして、チームの力となる選手に成長するために、今まで学んできたことを生かして努力し続けたいと思います。

また、私は高校に寮から通っていたのですが、初めての寮生活でも様々なことを学び、経験しました。とりわけ、掃除や洗濯などを自分でするため、今までよりも時間を有効に使う努力をしてきたことは、これからの自分にプラスになると感じています。

3年間指導してくださった村谷先生には、いろいろな面でお世話になり本当に感謝しています。そして、いつも試合を観に来てくださった先生方の応援はとても力になりました。3年間本当にありがとうございました。



グローバルコース3年 松本愛美
筑波大学 体育専門学群 合格

私にとってこの3年間でもっともありがたかったのは、大学合格という目標に向かって、ともに努力する友人の存在でした。

入学後、私は勉強のやり方がわかっていませんでしたが勉強合宿で長い時間、仲間たちと学習する機会がありました。友人たちの勉強に対する意識の高さに驚きましたが、そのとき他の人がどんなふうにとれくらい勉強しているかを知りコツみたいなものが少しずつわかってきました。

大学入試前には、みんなもそれぞれの入試を控えていましたが、不安な気持ちの私を励ましてくれ、とても感謝しています。そんな友人たちは私の仲間でもありましたが、ライバルでもありました。毎朝早くからホームルームが始まるまでの時間や放課後に残って勉強している級友の姿を見て私も刺激を受けることができ「勉強するんだ」という意識を持ち続けることができました。そのような素晴らしい友人と私の質問に親身にわかりやすく指導してくださった先生方のおかげで有意義な高校生活を送れました。



アドバンスコース3年 松本真耶
広島大学 文学部 合格

「あんなに小さかった横井君が…」卒業が近づくにつれてこのような言葉をよくかけられるようになりました。入学からの6年間で体も大きく成長しましたが、内面はそれ以上に大きく成長したと信じています。慶進祭では企画・運営の厳しさを学び、体育祭やクラスマッチでは仲間と一致団結して取り組み、勝つことの難しさを実感しました。日々の生活では友人たちとお互いに切磋琢磨し勉学に励みました。その他にも様々な経験を経てきましたが、その一つ一つが私の成長の糧になったと思います。

また、慶進の良い所に中高一貫教育がありました。中学生の時からたくさんの先輩方の体験談を聞いたり、受験への姿勢を目にしたりしたことで私自身、早い段階から受験に対する覚悟や準備ができ、乗り越えることができたように思います。

この6年間で培った力は慶進でしか得られないものでした。先生、先輩、後輩、友人の皆様、そしていつも力になってくれた両親に心から感謝しています。ありがとうございました。そしてこれから新たな生活が始まりますが、この感謝の気持ちを忘れずに努力していきます。



中高一貫コース3年 横井一樹
山口大学 医学部医学科 合格

DOCTOR 高木 遥香 さん

平成19年3月 アドバンスコース卒業
平成25年3月 山口大学医学部医学科卒業
徳山中央病院勤務



私は現在、山口県内の
病院で臨床研修医として働いています。

私がこうして夢であった医師として働けているのは、高校3年間の努力があったからこそだと思います。慶進高校での3年間で最も大事にしていたのは、日々の授業の予習復習です。予習をしたうえで授業に臨み、その日の疑問はその日に解決することで最も効率よく定着させること

ができたと思います。皆さんも是非日々の授業を大切にしてください。

医師の仕事は楽な仕事ではありませんが、とてもやりがいのある仕事です。患者さんが元気になって退院していく姿を見ると、これまで努力してきた本当に良かったと感ずることが出来ます。これから医師を目指す方は、医学部に入るまでも入ってから大学生活も大変だとは思いますが、それほどやりがいのある魅力的な仕事です。最後まで諦めずに頑張ればその努力が報われる時が来ます。夢を叶えるために頑張ってください。

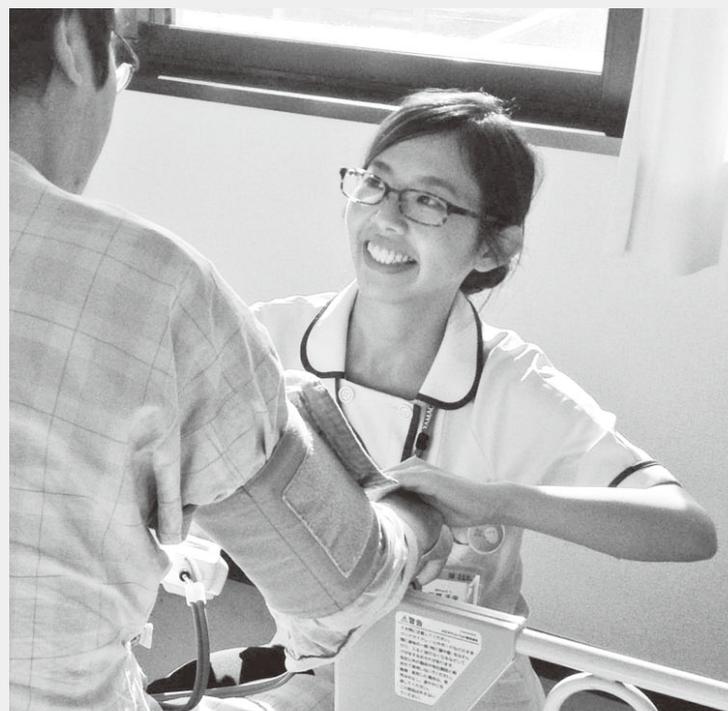
慶進から医療の現場へ+

高校を卒業し、4年間専門学校に通い昨年の4月から看護師として働いています。専門学校でも実習が忙しく、何度も看護師になることを諦めようとしたこともありますが、高校時代に陸上部に所属し、400mの選手として毎日きついトレーニングにも耐えてきた経験が、今の仕事を頑張れる1つの力となっていると思います。

日々の業務は忙しく、発展していく医療と様々な症状を抱える一人ひとりの患者さんに適切な看護を行っていくためには、一生懸命勉強を続けなければいけません。大変ですが、全く動くことのできなかった患者さんが元気に歩いて退院する姿を見たときや、「あなたに会えて本当に良かった」と患者さんから言われたとき、そして、仕事の中で経験したことを次の患者さんに活かしたときなどに、大きなやりがいを感じます。

まだ、わからないことばかりですが、毎日の学びを大切にしていきたいです。そして、1つ1つの学びを日々の仕事に活用していけるよう、これからも頑張りたいと思います。

夢や希望を持ち、これから社会に出て行かれる皆さんに、少し年上の先輩からのアドバイスとしては、頑張りすぎず、時に息抜きを取り入れることが、続けていける秘訣だと思います。自分のペースで自分らしさを大切にしてください。応援しています。



NURSE 三原 千央 さん

平成21年3月 グローバルコース卒業
平成25年3月 岩国YMCA国際医療福祉専門学校保健看護学科卒業
山口大学医学部附属病院勤務



前田 慶進高校の生徒会の様子を教えてください。

森本 伝統的に全校生徒が参加して楽しめるような行事運営を行っています。例えば慶進祭のオーブニングのクイズです。一見参加していそうには見えない生徒も実はきちんと考えているので、みんなに興味のわきやすい、考えやすいような問題を選ぶようにしています。後は各学年のカラーを出してこうっていうことです。

前田 各学年の生徒会のカラーはどんな感じですか？

森本 行事などでは自分が目立つことが多かったのですが、支えてくれた仲間、目立たない仕事を

やってくれていた仲間がいたからやりとげることができていました。みんなが自分を立ててくれたり、裏方がんばっている役員がいたということも多く、生徒に知ってほしくて閉会の行事のときに紹介をするようにしていました。

前田 前生徒会は森本先輩がMCとかをされるなどすごい存在の人がいました。私の学年は誰かっていうスーパースターがいるわけではないので、みんなで協力してやっています。誰かがでていって誰かが止めてとか、みんなが話し合って役割分担して取り組んでいます。個々の力を互いに補いつけてやっています。

前田 従来の体育祭は生徒だけで運営する他の行事に比べて教員が指示を出すことが多かったですね。応援団ができたことで、団長が事前にルールや時間を守るなどの心構えを団員に話す機会もあるなど自主性が生まれましたね。会長の任期を終えた後も応援団長として森本君は生徒会を支えていましたね。全員参加の行事にするためのコツってどんなものがありますか？

森本 事前と事後のアンケートです。重村先輩が重視していました。

前田 行事は生徒会だけでやるものではありません。ひとりよがりにならないように事前のアンケート

とでみんなの意見を聞きたいと思っています。

前田 事後は？

森本 次の年度の行事のためですね。生徒会は進化していったほうがいい

生徒会長

新×旧 対談

新生徒会長 篠田早紀 (AII)



旧生徒会長 森本貴公 (AIII)



前田 新生徒会で取り組んだ全校生徒が楽しめる行事とは？

篠田 体育祭ですかね。新生徒会になって初めての行事だったので戸惑いでしたが、みんなが楽しめるように初めて応援団を取り入れました。進行がスムーズになつた上にみんな楽しんでもらえたと思います。

前田 従来の体育祭は生徒だけで運営する他の行事に比べて教員が指示を出すことが多かったですね。応援団ができたことで、団長が事前にルールや時間を守るなどの心構えを団員に話す機会もあるなど自主性が生まれましたね。会長の任期を終えた後も応援団長として森本君は生徒会を支えていましたね。全員参加の行事にするためのコツってどんなものがありますか？

前田 卒業生に一言。

篠田 今の仕事が順調なのは今の役員の方もありますが、先輩方が残してくださった資料やアンケート、先輩方と一緒に仕事をさせてもらったことで学べたノウハウなどがあつたからです。感謝しています。これからも先輩方から学んだことを活かしていきたいので見ておいてください。また相談することもありますが、お願いします。

前田 卒業生に一言。

篠田 今の仕事が順調なのは今の役員の方もありますが、先輩方が残してくださった資料やアンケート、先輩方と一緒に仕事をさせてもらったことで学べたノウハウなどがあつたからです。感謝しています。これからも先輩方から学んだことを活かしていきたいので見ておいてください。また相談することもありますが、お願いします。

前田 陰で支えてくれた役員、大目に見てくれた先生方に感謝しています。篠田さんたちは心配する要素がないので安心して見えています。慶進生は行事に積極的に参加することが Motto だと思うので大切にしていきたいです。みんなが参加することで生徒会も輝ける。生徒会をしていてよかったと思うのは、慶進生のみなが積極的に参加してくれているからです。

前田 陰で支えてくれた役員、大目に見てくれた先生方に感謝しています。篠田さんたちは心配する要素がないので安心して見えています。慶進生は行事に積極的に参加することが Motto だと思うので大切にしていきたいです。みんなが参加することで生徒会も輝ける。生徒会をしていてよかったと思うのは、慶進生のみなが積極的に参加してくれているからです。



進行/英語科教諭 前田 一郎

慶進の小窓

Vol.10

この小窓を開ければ、常盤公園が見える。あの小窓を開ければ、第一グラウンドが見える。慶進にはそんな小窓がたくさんあります。でも、きっと慶進を見るための小窓もあるはず。そんな小窓を紹介するコーナーがこの「慶進の小窓」。第10回の小窓は本館のオープンスペースです。

オープンスペース

昨年7月に完成した本館2Fには明るい空間のオープンスペースが設けられました。職員室からも近いところにあり、個人面談や個別指導の場として利用されています。

今日の放課後も1人の生徒が物理の質問がある。と問題集をもって職員室の杉森先生を訪ねてきました。杉森先生は職員室を出てすぐのオープンスペースへ移動し、個別指導を始めます。

慶進の昼休みや放課後にはよく見かける光景です。

杉森先生は「試験期間以外にも質問に来る生徒が多く感じます。頑張ろうと前を向いている生徒の力になればと思います。」と話されていました。

慶進には気軽に先生



に質問できる雰囲気があります。「分からないところをそのままにせず、勉強が分かるようになっていきました。」というお言葉をよかったです。このように進路、学校生活の相談や気軽にできる環境づくりが、慶進生の学ぶ意欲の向上につながっていると感じます。

From the Locker Room vol.9

家庭部 ~自立した大人になるために~



毎週火曜日17:00~18:30、3号館1F食物実習室では家庭部の調理実習が行われています。家庭部は過去に「宇部のB級グルメを探せ!ディスカバB in 宇部まつり」において「フレンチトースト」を出品し、グランプリを獲得した実績があります。

今日のメニューは「ピザ」。今までにつくったメニューには、黒糖蒸しパンやチーズフォンデュなどがあり、クリスマスシーズンにはチョコレートケーキにも挑戦しました。

A、G、中高あわせて40名程いる部員の中には男子生徒の姿も。ある男子生徒は包丁を握りながら「一人暮らしをしたときに活かしたい」と話してくれました。「家庭部での活動を通して他のコースの人、後輩とも仲良くなれた」と学校生活での友人作りのきっかけにもなっています。



「料理や裁縫などの身の回りのことは自分でできる自立した大人になってほしい。コースを越えて慶進生として校内の絆作りになれば」と顧問の岡恵子先生。この場にいる部員たちの楽しそうな姿を見ていると、岡先生の温かい想いは伝わっていると感じました。この日もおしゃべりをたくさんしながら終始和やかに調理をしました。互いに声をかけて調理の手順を確認しながら、役割分担をしてつくりあげた家庭部のピザ、星3つです☆☆☆

頑張れ慶進生 夢はゆずれない

平成26年度 大学入試合格状況 (2月24日現在)

国公立大学推薦

- 筑波大学.....1
- 広島大学.....2
- 山口大学.....7(医5)
- 山口県立大学.....2
- 下関市立大学.....1
- 防衛医科大学校.....1

私立大学

- 青山学院大学.....2
- 東京理科大学.....3
- 法政大学.....6
- 明治大学.....2
- 立教大学.....1
- 獨協医科大学.....(医1)
- 立命館大学.....9
- 関西大学.....2
- 関西学院大学.....4
- 関西外国語大学.....6
- 川崎医科大学.....(医1)
- 産業医科大学.....(医1)
- 西南学院大学.....1
- 福岡大学.....11
- 久留米大学.....(医1)
- など



毎週金曜日17:00~絶賛放送中

慶進生や先生をゲストに迎え、放送中の「This is Keishin Radio Station」。慶進生の日常から、学校行事、先生方のちょっとした裏話まで話題盛り沢山で放送中です。慶進生のリアルな声を通じて、ぜひ人間力に触れてみてください。ナビゲーターの松原さんと田中先生の息の合った軽快なトークにも注目です。

- FMきらら 80.4mhz
- サンサンきらら 89.7mhz

